

食見地区周辺海域調査

1 はじめに

福井県海浜自然センターが位置する食見海岸は、常神半島と黒崎半島に囲まれた世久見湾南部にある。湾内の4箇所30.2haの海域は、すぐれた海中景観を有することから、福井県では唯一の海中公園（三方海中公園）に指定されている。これらの海域において継続的な調査により藻場や生物相の現状把握に努めることは、当該海域の環境保全および普及啓発を推進する上で重要といえる。そこで、当センターでは平成11年度から当該海域において藻場や生物相の調査を継続的に実施している。

2 調査内容と結果

(1) 海水温測定

①調査地点および方法

センター地先船着き場内において、可能な限り毎日午前9時に表層から1m以浅で水温の測定を行った。

②結果

図1に平成19年度と平成20年度の測定値の各月の平均値を示した。4月12.1℃、5月16.2℃、6月19.7℃、7月24.9℃、8月27.6℃、9月25.6℃、10月22.0℃、11月11.9℃、12月15.0℃、1月11.9℃、2月11.0℃、3月11.2℃であった。

平成20年度の水温は平成19年度と比較して、7月から8月にかけて2.2～2.5℃、2月から3月にかけて1.1～1.4℃高めで推移した。他の月は、ほぼ同様の値であった。

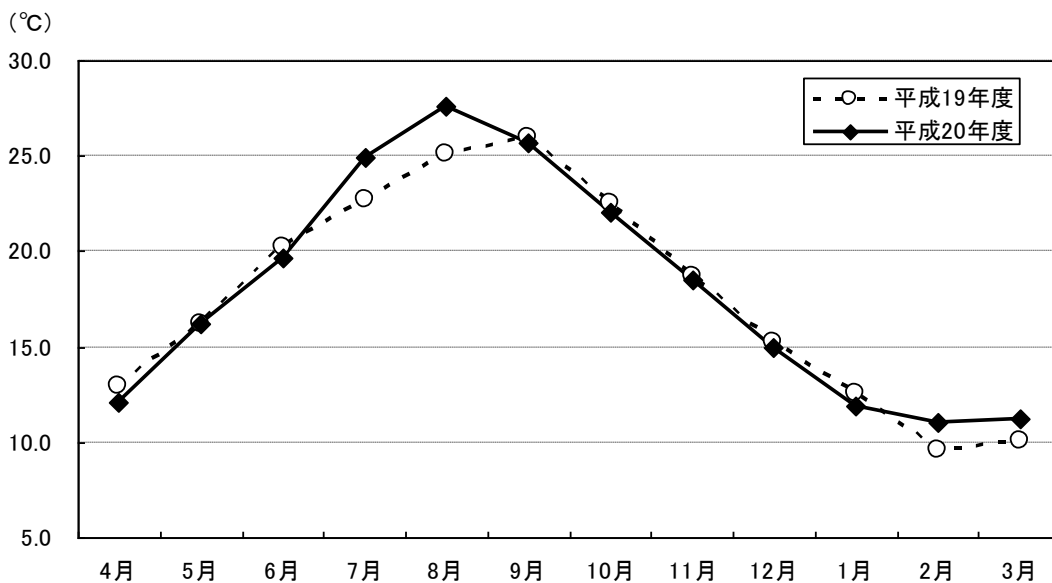


図1 センター前月別平均水温（平成20年度）

(2) 生物相調査

①調査地と方法

調査は、平成20年10月8日に世久見湾奥の海浜自然センター北側に隣接する遊歩道地先海域において実施した。

3m四方のコドラートを3箇所設置し(図2)、スノーケリングによる目視観察によって、コドラート内に出現した無脊椎動物(軟体動物、甲殻類、棘皮動物、環形動物、刺胞動物)、魚類について記録した。目視観察は、二人一組で1コドラートにつき20分間行い、表1の基準にしたがって記録した。いずれの分類群についても微小な個体や岩の下、割れ目の奥などに隠れているものは調査対象から除外した。



図2 生物相調査地点

表1 記録方法

分類群	記録方法	
無脊椎動物	軟体動物(貝類、イカ類、タコ類)、甲殻類(エビ類、カニ類)、棘皮動物(ヒトデ類・ウニ類・ナマコ類・ウミシダ類)、環形動物(ケヤリムシ類)	1~9個体: - 10~19個体: + 20個体以上: ++
	刺胞動物(イソギンチャク類・クラゲ類)	被度1%未満: - 被度1%以上: +
魚類	種類と個体数について記録する。 A: 1個体 B: 2~10個体 C: 11~50個体 D: 51個体以上	

②結果

調査地の水深は、St. 1が0.8~2m、St. 2が1.2m、St. 3が2~3.5mであった。底質は、St. 1では砂利の中に転石が点在していた。St. 2およびSt. 3では巨礫が主体であった。結果を表2~3に示した。無脊椎動物については、12目14科18種、魚類については、3目8科9種が確認された。

表2 定点調査地点結果(無脊椎動物)

門	綱	目	科	種名	St. 1	St. 2	St. 3
刺胞	花虫	イソギンチャク	ウメボシイソギンチャク	ベリルイソギンチャク ミドリイソギンチャク	-	-	
		石サンゴ	キクメイシ	キクメイシモドキ			-
軟体	多板	新ヒザラガイ	クサズリガイ	ヒザラガイ		-	
		カキ	イタボガキ	イワガキ	+		+
	二枚貝	イガイ	イガイ	ヒバリガイ	++		
		腹足	古腹足	サザエ	ウラウスガイ サザエ	-	
	ニシキボウズ			オオコシダカガンガラ クボガイ ヒメクボガイ	-	-	++
	新腹足		アッキガイ	レイシガイ	++	+	+
	裸鰓	イロウミウシ	シロウミウシ	-			
節足	軟甲	十脚	ホンヤドカリ	クアシホンヤドカリ	-	-	
棘皮	ウニ	ホンウニ	オオバフンウニ ナガウニ	バフンウニ ムラサキウニ	-	-	++
		ヒトデ	ヒメヒトデ	イトマキヒトデ	+	-	-
脊索	ホヤ	側性ホヤ	マボヤ	シロボヤ			-
5門	8綱	12目	14科	18種	12種	9種	7種

表3 定点調査地点結果（魚類）

目	科	種名	St. 1	St. 2	St. 3
カサゴ	カジカ	キヌカジカ	A		
スズキ	ベラ	ホンベラ	A		B
	ヘビギンボ	ヘビギンボ	B		B
	イソギンボ	ニジギンボ			A
	イシダイ	イシダイ	A	A	
	ハタ	キジハタ		A	
フグ	フグ	シヨウサイフグ	A		A
		クサフグ		A	
	カワハギ	カワハギ			A
3目	8科	9種	5種	3種	5種

(3) ウミガメ調査

①目的

定置網で混獲されたウミガメ類を調査することにより、日本海におけるウミガメ類の回遊状況解明の一助とする。

②調査地と方法

沿海漁協へ調査表を配布し、ウミガメ類が混獲された場合に報告をうける体制を平成17年から整えている。混獲されたウミガメ類が、漁港まで運搬されている場合、現地に赴き、種名、大きさ（甲長、甲幅）などを記録した。

③結果

平成20年度には、アオウミガメ3頭、アカウミガメ1頭の混獲報告があった。そのうちアオウミガメ2頭は、標識が装着された再捕個体であり、沖縄本島と鹿児島から放流された個体であった。また、平成19年度に放流したアオウミガメ1頭が三重県で再捕された報告があった（表4）。

混獲、標識放流の記録は、標識放流調査の取りまとめ機関である日本ウミガメ協議会へ報告した。

表4 ウミガメ調査結果

混獲の記録								
発見日	種名	発見場所等	大きさ			処理	確認された情報	
			甲長	甲幅	体重			
2008年9月25日	アオウミガメ	若狭三方町漁業協同組合(常神)	定置網	42.9cm	35.5cm	12.6kg	測定後、常神漁港から放流 タグ未装着	-
2008年10月3日	アカウミガメ	美浜町漁業協同組合(日向)	定置網	75.5cm	61.0cm	未測定	測定後、日向漁港から放流 タグ未装着	-
2008年11月5日	アオウミガメ	若狭三方町漁業協同組合(世久見)	定置網	76.1cm	61.1cm	未測定	測定後、世久見漁港から放流 タグ装着済 右前肢:JPN44162プラタグ 左前肢:JPN48132金属タグ	再捕個体 沖縄本島からの放流個体 放流時の詳細不明(情報:日本ウミガメ協議会)
2008年11月6日	アオウミガメ	美浜町漁業協同組合(日向)	定置網	83.3cm	66.1cm	79.5kg	測定後、日向漁港から放流 タグ装着済 右前肢:JPN47261プラタグ 左前肢:JPN47262プラタグ	再捕個体 2008年9月28日鹿児島県南さつま市野間池:白瀬定置で放流された個体 放流時大きさ 甲長83.3cm 甲幅66.2cm(情報:日本ウミガメ協議会)
再捕の報告								
発見日	種名	発見場所等	大きさ			処理	確認された情報	
			甲長	甲幅	体重			
2007年10月1日	アオウミガメ	美浜町漁業協同組合(日向)	定置網	45.2cm	39.2cm	未測定	測定後、食見海岸から放流 タグ装着済 右前肢:JPN57303プラタグ 左前肢:JPN57304プラタグ	2008年10月8日(経過期間367日) 三重県志摩市志摩町越賀沖:エビ刺し網で混獲死亡 再捕時の大きさ 甲長46.7cm(情報:日本ウミガメ協議会)